平成２６年度発達障害に関する教員の専門性向上事業

海田南小学校の取組

海田町立海田南小学校

<学校の概要>

◆在籍児童数　６２６名　（平成２７年１月７日現在）
（通常の学級１８学級　特別支援学級２学級）

◆平成２５年度から特別支援教育の考え方を取り入れ巡回相談の結果を，個別の指導計画及び授業での具体的な指導に反映。

◆学校が支援を要すると判断した通常の学級の児童数１５名（個別の指導計画を作成済）

<校内体制>

◆特別支援教育コーディネーター１名指名

◆月１回，校内委員会実施
→全校で共有すべき点は職朝・終会で周知

◆共通認識
→行事毎に気になる児童への指導の仕方を確認

◆巡回相談１回実施済
→授業観察後，個別の指導計画の評価

１　学校全体の取組

①「南小ガイドブック」の作成
◆学習規律を全校で統一

②「めあてこ」の徹底
◆相手を見て，姿勢を良くして聞く。

③教室前面の掲示物の整理
◆全校で掲示物を統一

２　授業実践報告（概要）

【授業概要】
◆国語科　第２学年
「わたしは　おねえさん」
◆主人公の気持ちの変化を読み取ることができる。
【学級全体の状況】
◆読み取りの苦手な児童が１４名いる。
【個の状況】
◆児童Ａ・・・言語による指示を理解するのが難しい。
視覚優位。
１字１字指で押さえて声に出して読まないと意味が読み取れない。

２　授業実践報告

(学級全体への支援)

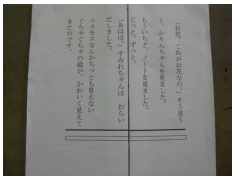
①授業の流れカードの提示

見通しをもって学習ができ，集中力が持続する。

2　授業実践報告

(学級全体への支援)

②ワークシートの工夫



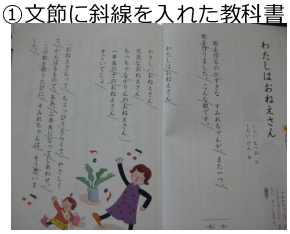
→

時間の経過や気持ちの読み取りができる。

2　授業実践報告

(個への支援)

①文節に斜線を入れた教科書



事前の宿題で，読むことを習熟させる。

2　授業実践報告

(個への支援)

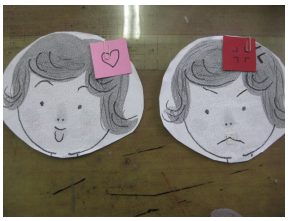
②座席を離す

隣の人による集中力低下を防ぐ。

2　授業実践報告

(個への支援)

⑥気持ち読み取り支援



視覚支援で，気持ちを絵でとらえさせる。

2　授業実践報告

(個への支援)

⑦指示支援シート

→

指示したことを視覚的に残し，終わったことを確認させる。

3　成果と課題

成果

○朝の動きが時間内にできなかったが,シートを使って１つずつ順番にやれ,時間内にできる日が増えてきた。

○言語による指示でも,返事ができるときは,行動に移すことができるようになった。

○書き写すことが難しかったが,めあてとまとめは書くことができるようになってきた。

○字形が整うまでにはいかないが,読めるようになった。

課題

▲読むことは,まだまだ早く読むことができないので,今後も音読の予習や文節での書き写しを行っていく。